



## 10月の玄関装飾

だんだん寒くなってきました。先日の「みなと区民まつり」の会場、芝公園は銀杏がたくさん落ちていました。もうすぐ「立冬」(11/7)ですね。24節気の冬の始まりです。

今月の玄関装飾は、この時期の一大イベントでもある「ハロウィン」です。今回の装飾は、かぼちゃやお菓子など子供たちが見てわくわくするような装飾となっています。ぜひ、来校した際にはご覧ください。



冬の有名な俳句を紹介します。

かくれんぼ 三つ数えて 冬となる(作者:寺山修二・てらやま しゅうじ)

「三つ数えている間に冬になった」という意味です。知らぬ間に、季節、生活、環境が変わっていたというように立冬が季節の変わり目であることが伝わります。

学校生活もいつの間にか秋も深まり、学習も進み、学芸会も待たれる頃になりました。先日、来年の1月17日に予定している「昔遊び」のお手伝いをしてくださる高齢者の方たちにお目にかかりました。3年ぶりのお手伝いで、練習を始めるそうです。地域の方にもお声をかけています。保護者の方でお手伝いができる方を求めたいと考えています。けん玉・コマ回し・お手玉・羽根つき・メンコを予定しています。時期が来ましたら、お声をかけますのでよろしくお願い致します。

「玄関装飾」に協力していただける方を募集しています。ご興味のある方は、副校長又は地域学校担当、見目・大谷までお電話ください